

優秀賞 賞

お客さまへのおもてなしの心を屋上庭園で

株式会社伊勢丹 山岸彰雄・望月友子・久保田剛生 / 株式会社伊勢丹ビルマネジメントサービス 佐藤行雄 / 株式会社日比谷アメニス 水野妙子 / 株式会社アボック社 佐々木知幸 / YRP ユビキタス・ネットワークング研究所 川井将之

新宿の伊勢丹本店は、お客様に安らぎを提供する空間として、芝生広場と雑木林を中心とする屋上庭園「アイ・ガーデン」を整備しました。芝生でくつろげ、園路を回遊しながら春・夏・秋の季節の草花がそれぞれのエリアを中心に楽しめるようになっています。四季

折々に咲き誇る草花には、かつて里山で見られた植物を織りこみ、親しみやすさとともに懐かしさも感じていただける庭園としました。また、車イスでも回遊できるバリアフリー化も行っています。



芝生であんよの練習



お休みの日はお父さんと



平日はお母さんと



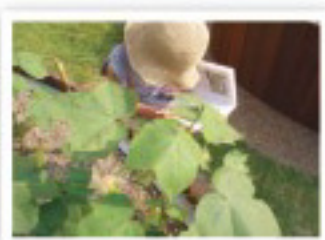
車椅子でOK



● アイキッズクラブ農園

アイ・ガーデン内に子供たちが農作業を体験できる「アイキッズクラブ農園」を設置しました。2006年はオーガニックコットンを、苗植えから収穫まで、アイキッズクラブのメンバーの方たちと育てていくという活動を行いました。

※アイキッズクラブは12歳以下の子供とマタニティ・ママのための子育てライフ支援のクラブです。



成長記録を貼付していく「さいばい日記」

作品概要

作品名：お客さまへのおもてなしの心を屋上庭園で
 所在地：伊勢丹本店本館屋上庭園 東京都新宿区新宿3-14-1
 業務の種類：百貨店の屋上庭園における、緑を介して様々なお客さまへのおもてなし
 業務の対象区域：伊勢丹本店本館屋上庭園 アイ・ガーデン
 業務の目的：アイ・ガーデンにいらっしゃるお客さまへ、庭園を眺めて楽しんでいただく以外に複数のコンテンツを介し、庭園に植わっている花と緑の情報サービスを楽しく、わかりやすく伝えるとともに、子供たちにも身近でわかりやすい環境教育の場としても力をいれている。

作品評

伊勢丹の屋上を魅力あるスペースへの変身を期して整備されたのが、緑いっぱいの憩いの空間「アイ・ガーデン」である。近くには新宿御苑などがあり、鳥や昆虫の恰好のオアシスともなっている。「常に半歩先を行く伊勢丹」が、屋上に緑豊かな庭園を造る、というだけでは満足しない。「単に自然環境を用意するだけでなく、それを学習につながる仕組みを作ろう」との考えが打ち出された結果として導入されたのが、ユビキタス・コンピューティングである。庭園内各所に無線ICタグを組み込んだ情報パネルを設置、端末機を近づけると、コンテンツを閲覧できる。これらのことを実現するために、日比谷アメニスほかに、YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所、アボック社、NPO 法人栽培植物分類名称研究所などが協力して、このプロジェクトを確かなものとした。造園施工業として庭づくりや管理運営は当然のこと。本プロジェクトは加えて、IT技術の適用と挑戦の事例として、優秀賞にふさわしいものと評価された。
 (井上 元)



春の庭



ライトアップされた月見台



庭を彩る花々

● 草花ガイドツアー

ICチップを利用した携帯端末による草花ガイドツアーを行っています。11ヶ所に設置されたICプレートに携帯端末を近づけると、近くの植物情報が文字や音声で提供されます。植物の豆知識やクイズが出題され、楽しみながら植物の情報を得ることができます。



アイ・ガーデン ユビキタスガイド



● 『花ごよみ』パンフレットと『樹木札』

季刊『花ごよみ』は四季折々の草花や樹木をお客様に楽しんでいただくためのパンフレットです。また、アイ・ガーデンの片隅に控えめに置かれているのがお客様の疑問に即座に答える『樹木札』です。



『花ごよみ』を中心とした3つのメディアが連携し、さまざまな場面、さまざまなお客様へ、幅広く植物情報を発信しています。

